

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（190）
2. 日時：令和3年8月4日 13時30分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

名倉安全規制調整官、忠内安全管理調査官、江寄企画調査官、
藤原主任安全審査官、三浦主任安全審査官、伊藤安全審査官、
杉原技術参与、谷口技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 土木建築部 課長、他4名

原子力本部 土木建築部 部長、他7名※

5. 要旨

- （1）東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「地盤支持性能」及び「耐津波設計」について提出資料に基づき、説明があった。
- （2）これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

<津波への配慮に関する説明書の補足説明資料>

- 防潮壁鋼板（防潮堤取り合い部）の固有値解析モデルについて、設定した境界条件の妥当性を説明すること。
- 地下トレンチを横断する遮水鋼板について、止水ジョイントと複合した構造となっている部位の施工の実現性を説明すること。
- 岩盤不陸部の1次元地震応答解析と2次元地震応答解析との比較について、曲げモーメント最大時のせん断ひずみ及び変位の比較だけでなく曲げモーメントについても比較を行い、杭の設計結果に対する影響を整理して説明すること。

- （3）東北電力株式会社から、（2）について了解した旨の回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」（令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- (1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（地盤支持性能）（〇2-他-F-19-0001__改16）
- (2) 補足-600-1 地盤の支持性能について（〇2-補-E-19-0600-1__改14）
- (3) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（防潮壁）（〇2-他-F-13-0001__改3）
- (4) 補足-140-1 津波への配慮に関する説明書の補足説明資料（〇2-補-E-01-0140-1__改21）

以上